

寒さの厳しい日が続いています。



白鳥の第一陣は、すでに北に向かいましたが、今週は風の強い冷え込んだ1週間となりました。先月のぽかぽか陽気もどこ吹く風、学校の周りも銀世界に逆戻りです。



厳しい寒さの中ですが、6年生の環境美化委員の子どもたち、5年生のボランティアの子どもたちが、朝の時間や休み時間に校舎前の雪寄せをしてくれました。



誰に頼まれたのでもなく、自分たちの学校を自分たちの手でよくしようという心意気に、現在の、そして次の世代のリーダーとしての自覚が表れていました。



また、2月2日（日）が節分だったことをふまえ、1、2年生は「まめまき集会」を行いました。集会では、小体育館に大きなオニの絵が3つも飾られていました。



集会のあいさつや進行も、子どもたちの手で行いました。学団のみんなの前でも、堂々と大きな声で話をしている様子に、子どもたちの成長を感じました。



豆まきで豆をぶつけるのは、子どもが考えた「自分の中にいる退治したいオニ」です。なまけ、寝坊など様々なオニに負けずに、これからも頑張りたいと思います。